センターだより

NO. 2
平成 22(2010)年５月２５日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町２－１
ＴＥＬ　06-6388-1455
ＦＡＸ　06-6337-5412
メール　s-educ@suita.ed.jp

特別支援教育推進事業

個別の教育支援計画と個別の指導計画とは？

「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」。一見してよく似通ったこの言葉が特別支援教育に関わって最近よく聞かれるようになりましたが、内容はご存知でしょうか。

- □ **「個別の教育支援計画」**とは障がいのある児童生徒等の一人一人のニーズを正確に把握し、教育のみならず、医療、福祉、労働等の関係機関との密接な連携協力のもと、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じ、一貫して的確な支援を行うことを目的として作成されるものです。
- □ **「個別の指導計画」**とは個別の教育支援計画をふまえ、学校における一人一人の教育的ニーズに応じた指導目標、内容、方法などを具体的にまとめた計画のことです。

ではそれぞれの計画は誰が作成するのでしょうか。長いスパンにわたる**「個別の教育支援計画」**は就学段階においては、それぞれの児童生徒が在籍する小・中学校が中心となって作成します。具体的には学校内及び他機関との連絡調整役となる特別支援教育コーディネーターが中心となって校内支援委員会で協議し、具体的な内容を策定することになります。また**「個別の指導計画」**は作成の中心は担任となりますが、担任一人だけに任すのではなく校内支援委員会などの組織で作成することが大事です。内容は児童生徒の特徴が分かりやすく、学習と結びつく目標と手だてが具体的に述べられていて引き継ぎやすい形式にします。

計画策定のための支援体制は？

しかし実際にこれらを作っていくのは、なかなかたいへんな作業です。教育センターでは実際に「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を策定していくためのさまざまな支援体制を用意しています。

① 巡回コーディネーターの巡回相談

小学校７名、中学校１名の通級指導教室担当者に、教育センターの発達相談員を加えた９名の巡回相談員が校長からの依頼によって学校を訪問し「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作るうえでの子どもの見立て、目標の作成や具体的な指導法についてのアドバイスをさせていただき、子ども支援の進め方を一緒に考えていきます。

② 特別支援研修

教育センターでは特別支援教育コーディネーター研修を７回計画していますが、発達障がいについての理解を深めるものや、行動・学習面での課題理解と指導法、幼-小-中学校間での引継ぎのしかたをはじめ、今回のテーマである個別の指導計画の書き方を実際にワークショップ形式で学ぶ研修も計画しています。特別支援教育コーディネーターだけではなく希望する教職員はどなたでもご参加できますので、どうぞご参加下さい。

ワンポイント コラム No.1

小学校では次年度から、中学校では24年度から新教育課程の完全実施となります。今年度は、「教育内容の主な改善事項」等を連載します。

◆情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実

社会の変化への対応の観点から、教科等を横断して改善すべき事項です。

小学校；各教科…ICT の積極的な活用を通じて、基本的な操作の習得や情報モラル等にかかわる指導の充実を図る。総合的な学習の時間…問題解決的な学習や探究活動を通して、情報を受信し、収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動を行うようにする。道徳…発達の段階に応じて情報モラルを取り扱う。

中学校；各教科…小学校段階の基礎の上に、ICT を主体的に活用するとともに、情報モラル等の関する指導の充実を図る。技術・家庭…マルチメディアの活用やプログラミングと計測・制御などに関する基本的な内容を学習させる。

－校内LANやPC・PJ等の活用については、センターだより特別号にても紹介します－

教育センターからの冊子のお知らせ

①　「特別支援教育推進事業、特別支援教育研修　通常の学級支援研修のまとめ」《水色の冊子》　[各校１冊]

目次　１．吹田市の特別支援教育／２．発達障がいの理解／３．読み書き・算数のアセスメントと指導／４．行動面のアセスメントと指導／５．ケースの全体理解と課題判断／６．校内委員会（ケース会議）の持ち方／７．個別の教育支援計画の作り方／８．授業中の環境調整とわかりやすい指示の方法／９．特別支援教育から見た授業ルール、学級経営／１０．幼・小・中・高の引き継ぎについて／１１．保護者との連携・専門機関との連携

★ 吹田の特別支援教育について、様々な角度から述べられています。すぐに活用できる、支援の実例も豊富に挙げています。（昨年度・一昨年度の教育センターで実施した研修の資料です）

②　「平成２１年度(2009年度)研究報告書（紀要１０４号）」《赤色の冊子》[各学年１冊]

Ⅰ．情報教育研究・・・情報モラルの指導、ＩＣＴ機器の活用、Ｗｅｂ会議システムの活用について

Ⅱ．発達理解研究・・・小学校授業における支援方法、幼稚園保育における支援方法、小学校授業における巧緻運動困難への支援(座位姿勢、リコーダー、鉛筆、コンパス)

Ⅲ．小学校英語研究グループ・・・研究授業等指導案、５年生 Lesson1 の活用例、授業ですぐ使える教材例、授業モデルの提案、小学校外国語活動に関するアンケート

Ⅳ．学校組織マネジメント研究・・情報共有による業務・事務の効率化、会議の精選と時間短縮、学校業務の効率化に向けて

Ⅴ．授業活性化研究グループ・・・吹田市の小・中学校の授業研究の課題の整理、ワークショップ型の授業研究会、授業ビデオを活用した授業研究会、アンケートの活用

Ⅵ．不登校児童・生徒支援事業・・・「光の森」「学びの森」活動について

★ 昨年度の教育センター研究グループの研究成果をまとめています。

～ぜひ、ご活用ください！！～

《研修報告》

×「まさか、うちの学校では・・」
キーワードは、「連携」

各校園での防犯研修につなげてください。

危機管理研修から
５月１８日実施

最初に、**「附属池田小学校事件から学ぶ千二小の学校安全」**というテーマで千二小中井首席からお話を聞きました。附属池田小学校事件は、わずか**3・4分間**に大切な子どもたち８名の命が奪われ、15 名の方が怪我をされたということ。大切な命を預かる私たち教職員は「まさか、うちの学校では・・」という考えを改め、常に高い危機意識を持ち、防犯体制を見直すことの大切さを実感しました。中井先生のお話を受け、中学校ブロックで各学校園の取組を交流し、最後に吹田警察生活安全課斉警部補より、学校園での防犯研修実施にあたっての課題等についてご指導をいただきました。

＜参加者からの感想＞池田小事件から、いろいろな角度で不審者対応のマニュアルを見る必要性がわかった／各校不審者対応マニュアルが若干違い参考になった。今後学校に持ち帰り、訓練に生かしたい／池田小事件の話は聞くと悲しくなるが、今後生かされるように考えていく視点が参考になった／危機管理に対する意識が低いことを実感し、もっと職員間で考えなければならない。

ヤングリーダー研修・学校パワーアップ研修から　（第１回　５月 14 日）

「吹田の教育について学ぶ」学校づくりを担う教職員の育成を目ざす両研修の第１回目として、学校教育室　松井室長より、吹田の教育について、今年度の重点課題を中心としたお話を聞きました。「確かな学校力」のためには、『気持ちのそろった教職員集団』が大切であるとのお話が強く印象に残りました。

＜参加者からの感想＞吹田の現状がわかり、学校を少しでもよりよい方向に向けたいと思う気持ちが高まった地域との連携の大切さと難しさを感じた／吹田市の重点課題を日頃の学級経営に活かせればと思った／生徒の成長のために熱く語り合える教職員仲間をつくる必要性を感じた。小中間の文化の壁を感じていましたが、段差をなくす必要性を理解することができました。

《研修案内》

[研修のお知らせ] 幼稚園教育研修①　5月28日(金)15:00～17:00　吹田市民会館　大集会室

「遊びと学力は地続き～小3までに育てたい算数脳～」(講座番号 112)

講師 「花まる学習会」主宰　高濱　正伸先生

小学校低学年向けの「作文」「読書」「思考力」「野外体験」を重視した学習教室『花まる学習会』を主宰され、ドラゴン桜公式副読本「16 歳の教科書」～なぜ学び、なにを学ぶのか～の７人の著者のうちの一人でもある、高濱先生のお話です。過日、そのご活躍の様子が「情熱大陸」でＴＶ放映され、大きな反響を呼びました。算数脳は「人生を切り拓いていく力」であり、それは、小３までの育て方・遊び方で決まってくるとのこと。小学校の教職員にも聞いていただきたいお話です。

奮ってご参加ください！！

第１号の訂正　表面の下の「平成２２年度　教育センター職員」欄で、杉山　知里　教育相談員に下線が抜けておりました。（本年度新職員です）お詫びして訂正させていただきます。

５　～　７　月　の　教　職　員　研　修　予　定

講座名		番号	研修テーマ・講師名・概要等	会　場	日　時	対　象
ライフステージにあった研修	初任者研修	15	「水泳実技研修」（小学校） 小学校教育研究会体育部教員等	片山市民プール	6月1日（火） 15:00～	小学校 初任者教員
	初任者研修 フレッシュ研修 （新規任用講師） ステップアップ 研修Ⅰ	14 37	「授業研究Ⅰ」 先輩指導教諭の授業に学ぶ　（中学校） 中学校国語科公開授業（1年）と研究協議 授業者　千里丘中学校　指導教諭　平岡　弘子	千里丘中学校	6月15日（火） 6時限目～	中学校 初任者教員 新規任用講師 教職2・3年目教員
	ステップアップ 研修Ⅰ	35	「研修目標設定・日々の授業づくりを見直すポイント」 吹田市立教育センター　指導主事等	教育センター 視聴覚室	6月7日（月） 16:15～	教職2・3年目 教職員
		36	「授業研究Ⅰ」 先輩指導教諭の授業に学ぶ　（小学校） 小学校社会科公開授業（6年）から学ぶ 授業者　千里たけみ小学校　教諭　荒木　大輔	千里たけみ小学校	6月29日（火） 6時限目～	教職2・3年目 教職員
	ヤングリーダー 研修	2	「学校教育に役立つ教育法規」 吹田市教育委員会教職員課　主幹 小林　太郎	教育センター 実技研修室	6月3日（木） 16：00～	ステップアップ研修 修了後～9年目程度
課題別研修		73	校内授業研究リーダ養成研修 「学校力を高めるための校内授業研究を考える」 教育センター参事　鷲尾　千恵 ※年間3回の連続講座として実施します。	教育センター 視聴覚室	6月14日（月） 16:00～	校内研修担当者 校内授業研究担当者 （各学校1名）
教科・領域研修	小学校英語活動研修	82	授業研修（第1回） 「中学校英語科公開授業・研究協議」 授業者　山田中学校　指導教諭　神崎　由紀 ※小学校英語担当者会を兼ねる	山田中学校	6月7日（月） 14:30～	小学校教職員 中学校英語科教員
特別支援教育研修	通常の学級 支援研修	211	発達障がいの理解 ※この研修は、211-A「LDの理解」 211-B「ADHDの理解」 211-C「高機能広汎性発達障害の理解」の3分科会に分かれます。申込時は参加希望の分科会(A,B,C)を備考欄に記入してください。 吹田市通級指導教員等	教育センター 視聴覚室 実技研修室 実験室	5月31日（月） 16:00～	教職員
		212	読み書き・算数のアセスメントと指導 ※この研修は、212-A「読み書き」 212-B「算数」の2分科会に分かれます。申込時は参加希望の分科会(A,B)を備考欄に記入してください。 A　星槎大学　伊藤　一美氏 B　平群町立平群東小　村井　敏宏氏	教育センター 視聴覚室 実技研修室	6月21日（月） 16：00～	教職員
幼稚園教育研修		112	幼稚園教育研修① 「遊びと学力は地続き」～小3までに育てたい算数脳～ 「花まる学習会」主宰　高濱　正伸氏	吹田市民会館 大集会室	5月28日（金） 15:00～17:00	吹田市立幼稚園・ 小学校教職員

※　各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧下さい。

各校に2枚ずつ配布しています、「新教育課程に向けての研修（速報板）《オレンジ色のチラシ》に、今年度の教育センターの研修を、夏季休業日中を中心に案内しています。ご覧いただき、研修会への積極的な参加をお願いします！！
なお、次号のセンターだよりで、夏季休業日中の研修について、ご案内する予定です。

2～5年目の教職員の方へ

ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱへこぞって受講を！

ステップアップ研修は、授業実践力・学級経営力を高めることをねらいとし、「ともに学び合う」ことを大切にした教職経験2～5年目の方を対象とした研修です。
※申込締切は過ぎていますが、まだ、受け付けています！！